

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

 三菱マテリアル

安比地熱発電所が営業運転開始

三菱マテリアル㈱、三菱ガス化学㈱、電源開発㈱ 3社共同出資会社の安比地熱㈱が営業運転スタート 山葵沢地熱発電所に続く、3社地熱発電共同事業

MMC、MGC、Jパワー 3社の共同プロジェクト

三菱マテリアル株式会社(執行役社長：小野 直樹氏、以下「MMC」)、三菱ガス化学株式会社(代表取締役社長：藤井 政志氏、以下「MGC」)、および電源開発株式会社(代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等氏、以下「Jパワー」)の共同出資会社である安比(あっぴ)地熱株式会社(代表取締役：菅野 雄幸氏、以下「安比地熱」)は、2024年3月1日より安比地熱発電所の営業運転を開始した。

安比地熱発電所

標高約1,130mの高地に位置する本発電所は、我が国におけるCO₂排出量抑制と電力安定供給に貢献するため、

2019年8月より建設を進めてきた。

岩手県八幡平地域の有望な地熱資源を活用して、発電出力14,900kWで操業を行う。

岩手県において発電出力10,000kWを超える地熱発電所の稼働は28年ぶりとなる。

山葵沢地熱発電所に 続いて2ヶ所目

発電された電力の全量は、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)を活用して社会に供給する。

MMC、MGC、およびJパワーの3社での地熱発電共同事業による発電所は、秋田県湯沢市の山葵沢地熱発電所に続き2ヶ所目となる。

本事業は独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構より地熱資源開発資金債務保証事業として支援を受けている。

安比地熱、MMC、MGC、およびJパワーは、安比地熱発電所の安定稼働を通じて、再生可能エネルギーの活用拡大に貢献する。

安比地熱発電所概要

- ・名称：安比地熱発電所
- ・所在地：岩手県八幡平市八幡平山国有林内
- ・原動力の種類：汽力(地熱)
- ・出力：14,900kW
- ・着工：2019年8月
- ・発電方式：シングルフラッシュ方式

再生可能エネルギー 注目浴びる地熱発電

三菱マテリアルは、2003年度に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)による安比地



域の地熱開発促進調査結果を受け、三菱ガス化学とともに2004年度以降、地熱発電の事業化を検討。三菱マテリアルは環境アセスメントに先行し、2014年10月より環境調査に着手し、2015年2月にNEDOによる環境アセスメント調査早期実施実証事業に参画した。三菱マテリアル・三菱ガス化学は、長期に亘る噴気試験や、地質モデルを利用した資源量評価により、出力15MW(メガワット)級の発電規模に相当する地熱資源量の存在を確認したことに加え、温泉資源への影響や環境規制などのリスクが低いことから、安比地域における地熱発電事業が可能と判断し、環境アセスメントに着手した。

環境アセスメントに先立ち、三菱マテリアルおよび三菱ガス化学は、事業実施主体を明確化するとともに事業化推進体制を整備するため、安比地熱㈱を2015年10月に共同設立。環境へ配慮した地熱発電の建設により、CO₂排出量抑制と電力安定供給に貢献するため、事業化に向けて検討を開始した。

本プロジェクトはその後、2018年に安比地熱発電㈱の株主にJパワーを加え、3社共同プロジェクトとして2019年以降に工事開始を検討。2024年4月の運転開始を目指し、2019年8月に安全を最優先して工事を着工し、当初の予定を1カ月前倒しで、このほど営業運転を開始した。

(※資料提供：三菱マテリアル)

